

氏名	関美雪	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	公衆衛生看護学				
学位	博士（医学）				
学歴	2015年筑波大学人間総合科学研究科社会環境医学専攻博士課程				
経歴	2019年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本地域看護学会、体力・栄養・免疫学会、日本小児保健協会、日本保健福祉学会、日本ヘルスプロモーション学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	養護教諭なんでも相談室「子どものストレスについて」	単著	あり	心とからだの健康 健学社 Vol.28 No.314 P42-44	関美雪	2024.4	
2	これからの地域看護学 多様性と包括性をふまえた看護実践に向けて	共著	あり	朝倉書店 全192ページ 担当P38-41	編者：渡邊多恵子,関美雪,望月宗一郎,佐藤美由紀,小川純子,坂井志織	2025.3	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共著	あり		子ども教職研究8巻 P3-9	○関美雪, 上原美子, 佐藤玲子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏	2025.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	乳幼児を持つ父親のワーク・ライフ・バランスに関連する要因の検討	共同	第71回日本小児保健協会学術集会・北海道札幌	○関美雪, 柴田亜希, 石崎順子, 丹野祐美, 伊草綾香, 黒澤恭子		2024.6	
2	妊娠期に行う運動種目別に着目した母児への影響と効果に関する文献検討	共同	第71回日本小児保健協会学術集会・北海道札幌	○柴田由里子,関美雪		2024.6	
3	COVID-19の影響下における保健師学生の卒業時の到達度による教育評価 - 地域の健康課題の明確化と計画・立案する能力に着目して -	共同	日本地域看護学会第27回学術集会・宮城県仙台市	○柴田亜希, 石崎順子, 丹野祐美, 伊草綾香, 関美雪, 服部真理子, 黒澤恭子		2024.6	
4	第1子の乳児を育てる父親のワーク・エンゲイジメントと仕事の資源との関連	共同	日本地域看護学会第27回学術集会・宮城県仙台市	○関美雪, 柴田亜希, 石崎順子, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子		2024.6	
5	椅子からの立ち上がり・着席の動作における両足指筋力と重心動揺の検討	共同	第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会、兵庫県神戸	○佐藤玲子,関美雪, 上原美子		2024.11	
6	小学校担任教諭のワーク・エンゲイジメントとジョブ・クラフティングとの関連	共同	第21回日本ヘルスプロモーション学会・第13回日本産業看護学会合同学術集会、東京都	○菊池宏,上原美子,関美雪, 石崎順子		2024.11	
7	保健師として就業している卒業生のネットワーク構築をめざしたキャリア支援の実践	共同	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会・愛知県名古屋市	○柴田亜希, 菊池宏, 丹野祐美, 伊草綾香, 黒澤恭子, 関美雪, 石崎順子, 服部真理子		2025.1	
8	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共同	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会・愛知県名古屋市	○関美雪, 上原美子, 柴田亜希, 石崎順子, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏		2025.1	

9	小学校担任のワーク・エンゲイジメントと仕事時間との関連	共同	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会・愛知県名古屋市	○菊池宏,上原美子,関美雪,石崎順子	2025.1
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		地域在住高齢者の足部セルフケアの促進と足指筋力の向上を目指したプログラム開発	研究分担者	2019.4～2025.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		胎児性アルコールスペクトラム症候群予防のための女性飲酒教育プログラムの開発	研究分担者	2020.4～2025.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		養護教諭とスクールソーシャルワーカーの専門職が協働した保健室経営の実証的研究	研究分担者	2021.4～2025.3
4	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト		軽度に虚弱な高齢者に有効で普及しやすいリエイブルメント・プログラムの開発及び効果検証研究	研究分担者	2024.4～2027.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	保健医療福祉行政論	○	8	行政における保健師活動の基盤となる地域保健法、財政のしくみ、保健福祉計画の策定と評価について教授した。	
2	地域ケア支援論		2	保健活動を展開するための理論を学ぶ内容とともに、事例研究から地域ケアにおける支援の内容について理解できるよう工夫した。	
3	次世代育成看護論		15	次世代を育む親となるための支援などに関する研究論文等の文献から、課題解決のための研究的アプローチについて教授した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	地区診断論		9	健康課題を明確化するために、実習地を事例としたデータを用いた演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。	
2	公衆衛生看護技術Ⅰ		8	相談及び家庭訪問、乳幼児健診における援助技術の演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。	
3	公衆衛生看護技術Ⅱ		8	地区診断で分析した健康課題をふまえて健康教育の立案・実施・評価までの演習を行った。	
4	公衆衛生看護技術Ⅲ		8	P D C A サイクルを駆使した保健事業の展開を通じて、住民との協働及び多職種連携の重要性についての理解を深めた。	
5	地域看護学Ⅲ		9	在宅看護における看護過程の特徴と展開の方法について、事例の情報からアセスメントと看護課題の検討までの演習を行った。	
6	教職実践演習		15	学生自らが、保健室経営ができる養護教諭として必要な資質能力を確認し、不足する知識技能等を補えるように演習を行った。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	公衆衛生看護学実習		2024.5～2024.6	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう指導した。	

2	地域看護学実習		2024.10～2024.12	訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解につながる課題を提示しディスカッションを行った。	
3	養護実習Ⅰ		2024.9～2024.10	養護教諭としての学校における役割と学校組織を学ぶことを目的として学習支援を行った。	
4	養護実習Ⅱ		2024.5～2024.6	養護教諭としての専門性及び実践力を修得し、保健室経営に必要な理論と方法を学ぶことを目的として学習支援を行った。	
5	総合実習		2024.7	地区診断を踏まえた保健師活動の企画実施評価までのプロセスの学習と公衆衛生看護活動における保健師の役割の理解を深めた。	
6	IPW実習		2024.8	IPW実習の目的に沿って、所属の異なる学生が、意見を出し合い、ディスカッションできるよう学習支援を行った。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2024.4～2025.3	主指導 8名	副指導 名
2	博士論文		2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 4名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	養護教諭就職支援		2024.4～2025.3	養護教諭就職を希望する学生に対して、集団討論、個別面接を行った。	
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県児童虐待対応医療ネットワーク事業第1回研修会		埼玉県立小児医療センター	母子保健分野におけるこども虐待への対応 ～保健師に求められる支援技術と多職種連携～	2024.7
2	埼玉県市町村担当課長研修会		埼玉県福祉部 こども安全課	児童虐待事例から学ぶ 児童虐待対応における母子保健の役割	2024.7
3	高校出張講座		所沢高等学校	赤ちゃんの持つ力～発達のメカニズム～	2025.3
4	オープンカレッジ 卒業生等支援講座「卒業生保健師勉強会」		地域看護学領域	保健師としての知識やスキルアップを目指した勉強会を3回開催した。 ①みんなで考えよう児童虐待 ②リエイブルメント～本人が決める目標と意欲を引き出す動機づけ面談～ ③学校と教師の特別支援教育の実践に学ぶ発達支援の観点	2024.7 2024.10 2025.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期	
1	埼玉県児童虐待重大事例検証委員会		委員	2021.4～現在	
2	さいたま市開発審査委員会		委員	2019.4～2025.3	
3	川口市介護保険認定審査会		委員	2005.4～現在	
4	川口市地域保健審議会委員		委員	2017.7～現在	
5	川口市地域保健審議会部会（川口市健康・生きがいづくり計画・食育推進計画（第3次））		部会長	2024.4～2025.3	
6	越谷市まちの整備に関する審議会		委員	2015.11～現在	
7	埼玉県訪問看護推進検討委員会		委員	2025.2～現在	
8	埼玉県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会		委員	2024.1～現在	
9	全国保健師教育機関協議会国家試験委員会		委員	2021.4～現在	
10	日本公衆衛生看護学会		査読委員	2016.4～現在	
11	全国保健師教育機関協議会北関東・甲信越ブロック		理事	2023.6～現在	

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会		2024.4～2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会		2024.4～2025.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	養護実習履修者審査		2024.4～2025.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	教職関連科目担当者委員		2024.4～2025.3
5	学科等における委員会等	保健師・助産師関連科目履修者選考委員		2024.4～2025.3
6	学科等における委員会等	JABNE日本看護学教育評価機構		2024.4～2025.3
7	大学広報活動	オープンキャンパス		2024.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	第26回埼玉県健康福祉研究発表会座長			
2	日本公衆衛生看護学会認定専門家（2024.4～2029.3）			